

3 まちづくりの 目標や考え方が変わります

新宮町、福岡市、古賀市はこれまで、それぞれにおいて固有のまちづくりを進めてきました。
その基本コンセプトや重点施策は、合併により大きく変化し、方向修正が必要となるはずです。

●現状のまちづくりの方向性

古賀市

●スローガン
「ひとが真ん中、古賀新時代」
輝く未来へ、はつらつ交流都市こが

●基本目標

- ① 生涯学習と健康づくりを進める元気な健康文化都市
- ② 明日を担う子どもを育てる人材育成都市
- ③ 人を中心に据えた人権尊重都市
- ④ パートナースHIPで築く男女共同参画都市
- ⑤ 市民と行政が一体となった新しい時代の市民参画都市
- ⑥ 自然・歴史・産業などのバランスある都市
- ⑦ 人・モノ・情報が集結し、響きあう多様な交流拠点都市

●重点施策

- ① 元気な人づくり
- ② 快適な環境づくり
- ③ 多様な交流拠点づくり

新宮町

●スローガン
「つなげよう、次世代へ」
環境共生と生涯学習のまちづくり

●基本目標

- ① 循環型のまちづくり
- ② 成熟型のまちづくり
- ③ 交流型のまちづくり
- ④ 環境学習のまちづくり
- ⑤ 住民参加のまちづくり

●重点施策

- ① 地域の特性を生かす基盤づくり
- ② 豊かな心を育む人づくり
- ③ ふれあいあふれる活力づくり
- ④ 安らぎのある快適な暮らしづくり
- ⑤ 町民が活躍できるしくみづくり

福岡市

●スローガン
自由かつ達人輝く自治都市・福岡をめざして
～九州、そしてアジアの中で～

●基本目標
自律し優しさを共有する市民の都市 自然を生かす快適な生活の都市
海と歴史を抱いた文化の都市 活力あるアジアの拠点都市

●重点施策

子どもがたくましく生きる力、夢や希望をもって育つまちとなる
個性と創造性に富んだ多彩な人材が育つまちとなる
地域コミュニティを活性化し、住民自治・地域自治を推進する
支え合い助け合い、生き生きと暮らせる健康・福祉のまちとなる
災害に強く、安全で安心して暮らせる都市となる
人権を尊重し、人の多様性を認め合うまちとなる
「楽・住・職」の融合した美しい都市となる
水・交通・住環境などの基盤を整備し、快適な生活環境を確保する
博多湾や背振山系などの自然を大切に、緑彩る都市となる
ライフスタイルを転換し、環境と共生する都市となる
福岡の魅力と環境を支える農林水産業を振興する
福岡の知性と感性を活かし、知識創造都市となる
起業・創造や企業立地を促進し、多様な雇用の場を創造する
おもてなしの心に満ちた国際集客文化都市となる
協力と競争を通じてアジアの交流拠点都市をめざす
福岡・九州とアジア・世界を結ぶゲートウェイを形成する
先進的モデル都市・アイランドシティを創造する
福岡都市圏や九州各地域との広域連携を強化する

●予想されるまちづくりの展開と課題

古賀市+新宮町

●まちづくりの共通性

- ① 古賀市・新宮町の市街地は、ともに鉄道・3号線沿線に形成され、その南東部に農地や山林がひろがっている。このため両市街地及び緑地帯を一体的に発展あるいは保全することが可能である。
- ② 古賀市・新宮町ともに生活環境の整備やひとづくりに重点施策を転換してきている。

●まちづくりの課題

- ① 両市町ともに、都市としては発展段階でありハード面において未整備部分がある。
- ② 新宮町の環境共生のまちづくりと、はつらつ交流都市古賀の考え方をマッチさせた新しいビジョンが必要となる。
- ③ それぞれの市町の利益誘導型で合併後のまちづくりを推進すれば、都市が2極化し、魅力のない市となる可能性がある。新しい核(中心地)が必要である。

福岡市+新宮町

●まちづくりの展開

福岡市への編入合併となるため、合併後も、現在福岡市が進めている新・基本計画に基づくまちづくりがそのまま踏襲されることとなる。

特に、新宮町と隣接する東区の基本計画では、安全・安心なまちになることを基本としながら、住みやすいまちを目指すため「すみやすい、あんしんなまち・東区」という将来像を掲げており、これに基づいたまちづくりが新宮町地域においても進められるものと思われる。

●まちづくりの課題

現在、本町で進めている各種事業の方針が大幅に変更されることが予想される。そのため、新宮町の住民に不利益とならないよう働きかけるとともに、現在進めている中心市街地計画(沖田地区区画整理事業、下水処理場建設)等の主要プロジェクトについても、福岡市の新・基本計画の中に盛り込むよう要望していく必要がある。